

# 第7回 低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉 申込用紙

必要事項をご記入のうえ、ファックスまたはメールにてお申し込みください。  
 個人情報は、目的以外に使用しません。定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡します。

**FAX:048-749-1218 E-mail:goto@kannet-sai.org**

氏名		所属	
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			

## 分科会の参加について (いずれかにチェック) ※各定員50名程度

遊ぼう!学ぼう!自然再生!	フードロスの削減に向けて
エシカルと身近になろう	さいたまの生物多様性のいまを考える
バイオマス利活用による地域分散型エネルギー	2030年に向けた家庭の省エネ
大気汚染とPM2.5を考える	未来遺産・見沼たんぼ地域から学ぶ

※ご希望にそえない場合がありますので、予めご了承ください。

## 交流会について

交流会に参加します ※会費(3,000円程度)はご負担ください。

※事前準備の都合上、直前でのキャンセルは、キャンセル料をいただきます。

## 報告書について (希望される方には、後日報告書を送付します)

報告書を希望します ※報告書代300円/冊(送料として)を当日受付で徴収します。

## 会場アクセス

### 国立大学法人 埼玉大学

(さいたま市桜区下大久保255)

- JR京浜東北線「北浦和駅」西口より  
埼玉大学行きバス約15分
- JR埼京線「南与野駅」より  
埼玉大学行き・志木駅東口行きバス約10分
- 東武東上線「志木駅」東口より  
南与野駅西口行きバス(埼玉大学下車)約25分

※駐車場、駐輪場の用意はございません。  
公共交通機関をご利用ください。  
※道路の混雑状況により、時間がかかる場合があります。



問合せ  
連絡先

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター(認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉)

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL:048-749-1217 FAX:048-749-1218 E-mail:goto@kannet-sai.org

URL: http://www.kannet-sai.org/



## 第7回 低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉

つながろう 広がろう

エコの環

2016年12月10日 土

会場 埼玉大学 全学講義棟1号館

定員 300名 要申込 先着順

※報告書をご希望の方は300円/冊(送料として)

このフォーラムは、低炭素社会の実現に向けて、ワークショップやパネルディスカッションをとおして、現代のライフスタイルを見直すとともに、問題や課題を発見し、今後の取組へと繋がります。さらに埼玉県地球温暖化防止活動推進員及び県内の環境団体・企業・学生の情報交換、交流、研修及び政策提言の場として開催します。

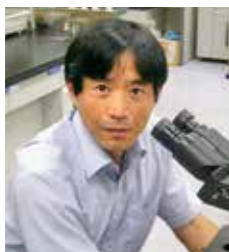
主催: 第7回 低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉実行委員会  
 共催: 埼玉大学、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター 後援: 埼玉県

当フォーラムは、環境省「平成28年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」の一環で行います。  
 また、公益財団法人サイサン環境保全基金の助成を受けています。

10:00~10:15 開会挨拶・来賓挨拶

10:15~11:30 基調講演 / 質疑応答(301教室)

**「自然災害、自然環境、その深いつながり、その中でわれわれはどうすべきか」**  
浅枝 隆氏(埼玉大学大学院 理工学研究科 教授)



埼玉大学大学院理工学研究科 教授  
1953年 広島市生 工学博士(東京大学)  
【専門分野、活動範囲】陸水生態学、特に、水生植物の生態、マングローブ、水質環境等。  
東京大学大学院修了後、埼玉大学助手、東京大学助教授、埼玉大学助教授を経て現職。海外誌 Wetlands Ecology and Management (Springer)のEditor-in-Chiefを務めるなど、海外を中心に活動。2018年に東京でInternational Symposium on Ecohydraulicsを開催予定。その他、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会会長、関東エコロジカルネットワーク人・地域づくり専門部会長など。  
【著書】「図説 生態系の環境」他。

11:30~13:15 昼食、学生ポスターセッション

12:00~13:00、各階ロビーにて埼玉大学学生による研究成果をポスターセッション形式で発表します。

●狭山丘陵いきものふれあいの里プロジェクト ●大学院GP現場研修プロジェクト

13:15~16:30 分科会 ●6つの分科会と■2つの大学特別分科会を開催します。希望の分科会にお申し込みください。

- 遊ぼう!学ぼう!自然再生
- フードロスの削減に向けて
- エシカルと身近になろう
- さいたまの生物多様性のいまを考える
- バイオマス利活用による地域分散型エネルギー
- 2030年に向けた家庭の省エネ

大学特別分科会 ■大気汚染とPM<sub>2.5</sub>を考える ■未来遺産・見沼田んぼ地域から学ぶ

17:15~ 交流会 学内食堂「バルメリンの森」にて交流会を行います。会費(3,000円程度)は各自ご負担ください。

## 構内案内図



### 受付

(全学講義棟1号館1階 西側正面入り口)

- ①受付をお済ませのうえ、基調講演は4階301教室後方入り口からお入りください。  
※1階、3階は東西間の通り抜けが出来ませんのでご注意ください。
- ②午後の分科会受付は、12:45より開始いたします。各分科会場は受付時にご案内いたします。

昼食は、学内の食堂・コンビニがご利用いただけます。

# 分科会紹介

講 講演 ワ ワークショップ パ パネルディスカッション 意 会場意見交換

## 遊ぼう!学ぼう!自然再生!

~集まろう!学生参加の分科会~ 講 ワ

自然再生について、浅枝隆教授から話題提供いただいた後、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会主催の秋イベントにおいて、学生が主体となって子ども達を対象に環境学習を行った体験を報告します。後半は、参加者がグループに分かれてワークショップを行いながら、学生参加型の自然再生活動への効果的な手法について意見交換を行います。

## エシカルと身近になろう 講 ワ

~私たちが本当に必要なものとは何か考える~

エシカルとは、“環境にも社会にも優しくなろう”といった考え方です。環境負荷やCO<sub>2</sub>排出量が少ない環境に配慮した商品や、途上国等における児童労働や強制労働を強いられない製品を選んで購入し、それらを長く使い続けていくことをエシカル消費と呼びます。“エシカル”を広めるために私たちに何ができるのか、学生を中心としたワークショップをととして皆で考えます。

## バイオマス利活用による地域分散型エネルギー

~地域の自然エネルギーを考えよう~ 講 意

地域における有機資源の高効率利用と環境負荷低減への手法やワザから地域エネルギー創出のコツを学びます。下水道汚泥を活用した発電計画や食品廃棄物バイオ処理によるエネルギーの先進活用事例紹介や、秩父広域市町村圏におけるバイオマス利活用推進のためのソーシャルビジネスモデルをご提案します。地域エネルギーの自立を目指して皆で意見交換を行います。

## フードロスの削減に向けて 講 意

~食べものに、もったいないを、もういちど~

日本の食品廃棄物量は年間632万トンに及び、世界全体の食料援助量の約2倍に相当します。これは日本国民1人1日当たりおよそ茶碗1杯分のご飯を捨てていることとなります。このようなフードロスの現状を解説し、行政・事業者による削減の取組を紹介します。日常生活で私たちが出来るフードロス削減の具体的な取組や日々の食生活を皆で考えましょう。

## さいたまの生物多様性のいまを考える

~いのちの共生を、未来へ~ 講 パ

生物多様性は、いま、深刻な危機に直面しています。このままでは、この地球の生物多様性に支えられている恩恵が得られなくなる恐れがあります。COP10(名古屋議定書)以降の世界動向、及び日本や埼玉の現状と課題、埼玉県指定の希少動植物の保護活動を行っている団体の活動事例を紹介いただいた後、参加者と一緒に生物多様性について課題を共有し、ディスカッションを行います。

## 2030年に向けた家庭の省エネ

~まずはツールを覗いてみよう~ 講 パ

COP21を機に家庭部門における温室効果ガス排出量は、2030年度までに約40%(2013年度比)削減が目標となっています。それに先立ち国は、削減のツールとして「2030年度までにHEMSを全世帯に普及させる」という目標を挙げました。私たちは、家庭の効果的な省エネを、実践的にどう取り組んでいけば良いのでしょうか。関係者をパネリストとしてお招きし、これからの家庭の省エネについて考えます。

### 大学特別分科会(埼玉大学が主体となり、分科会を開催します。)

## 大気汚染とPM<sub>2.5</sub>を考える 講 意

~PM<sub>2.5</sub>を正しく知ることで見えてくるもの~  
人間が生きていく上で、空気はなくてはならないものです。それゆえ、大気汚染に対する関心も自然と高まります。PM<sub>2.5</sub>はよく話題にあがる大気汚染物質ですが、その正体は意外と知られていません。当分科会ではPM<sub>2.5</sub>を正しく知ることを目標に、まずはPM<sub>2.5</sub>の性質、現状、健康影響について学習し、その後、日々の生活に関わるPM<sub>2.5</sub>問題について、皆様と一緒に考えます。

## 未来遺産・見沼田んぼ地域から学ぶ

~農業及び景観の保全と低炭素まちづくり~ 講 ワ  
見沼田んぼ地域はさいたま市近郊に残る大規模な田園緑地です。長く農業により維持されてきましたが、近年、農業者の後継者不足等より耕作放棄や斜面林の消失が進んでいます。この地域で市民参加の農業支援を実践してきた講師により様々な取り組みについて紹介していただき、見沼田んぼ地域の農業、景観、低炭素なまちづくりに資する緑地としての意義や今後の保全について考えます。

11月13日(日) 午前、事前視察ツアー開催!

見沼地域での興味深い取組事例を分科会講師が現地でご案内します。糞塚・フナノや、さいたまトリエンナーレのたんぼアートを見学します。  
【申込・問合せ】minuma.farm.kitasaku@ever.ocn.ne.jp